

# 東洋経済CSR調査・ CSR評価（ランキング）のご説明

---

2020年7月15日（水）～20日（月）

株式会社東洋経済新報社

『CSR企業総覧』編集長、財務・企業評価チーム

岸本吉浩

1. 東洋経済CSR調査の概要
2. CSRデータ利用刊行物・関連サービス
3. 回答企業との対話・外部との関わり
4. 東洋経済CSR調査回答に役立つ関連資料
5. 第14回東洋経済CSR評価・CSR企業ランキング
6. 公開情報からの調査・評価
7. 今年・今後の東洋経済CSR調査・評価

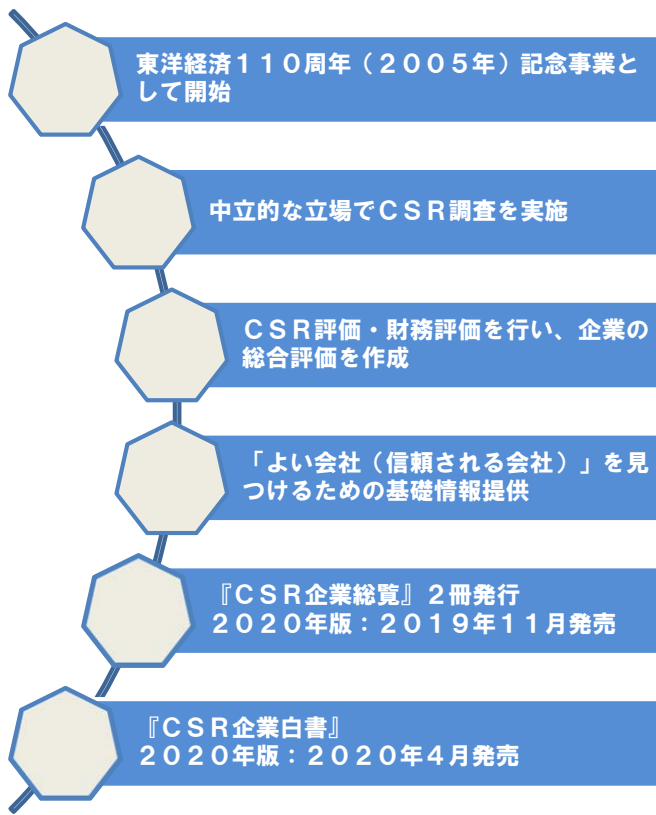
- 東洋経済CSR調査・評価の概要を知っていただく（基本的な考え方の共有）
- 説明資料等の存在を知っていただく
- 直接、ご質問いただける場を提供
- できるだけ多くの方とお会いする（双方向のコミュニケーション）

# 1. 東洋経済CSR調査の概要

---

# 東洋経済CSR調査は15回実施

## 東洋経済CSR調査の特徴



**掲載情報**

会社基本データ
CSR & 財務評価・格付け
CSR全般
ガバナンス・法令順守・内部統制
雇用・人材活用
消費者・取引先対応
社会貢献
企業と政治の関わり
環境

ランキング作成



集めたデータはすべて掲載

## 『CSR企業総覧』掲載社数とページ数



# 東洋経済が考える CSR活動に重要な3つの視点

信頼される会社へ



③社会課題の解決  
(CSVなど)

『CSR企業総覧 (ESG編)』

② ESGの基本的取り組み  
ESG (=環境・社会・ガバナンス)

2017年版から分冊



①人材活用・雇用問題 (H)  
の取り組み

『CSR企業総覧  
(雇用・人材活用編)』

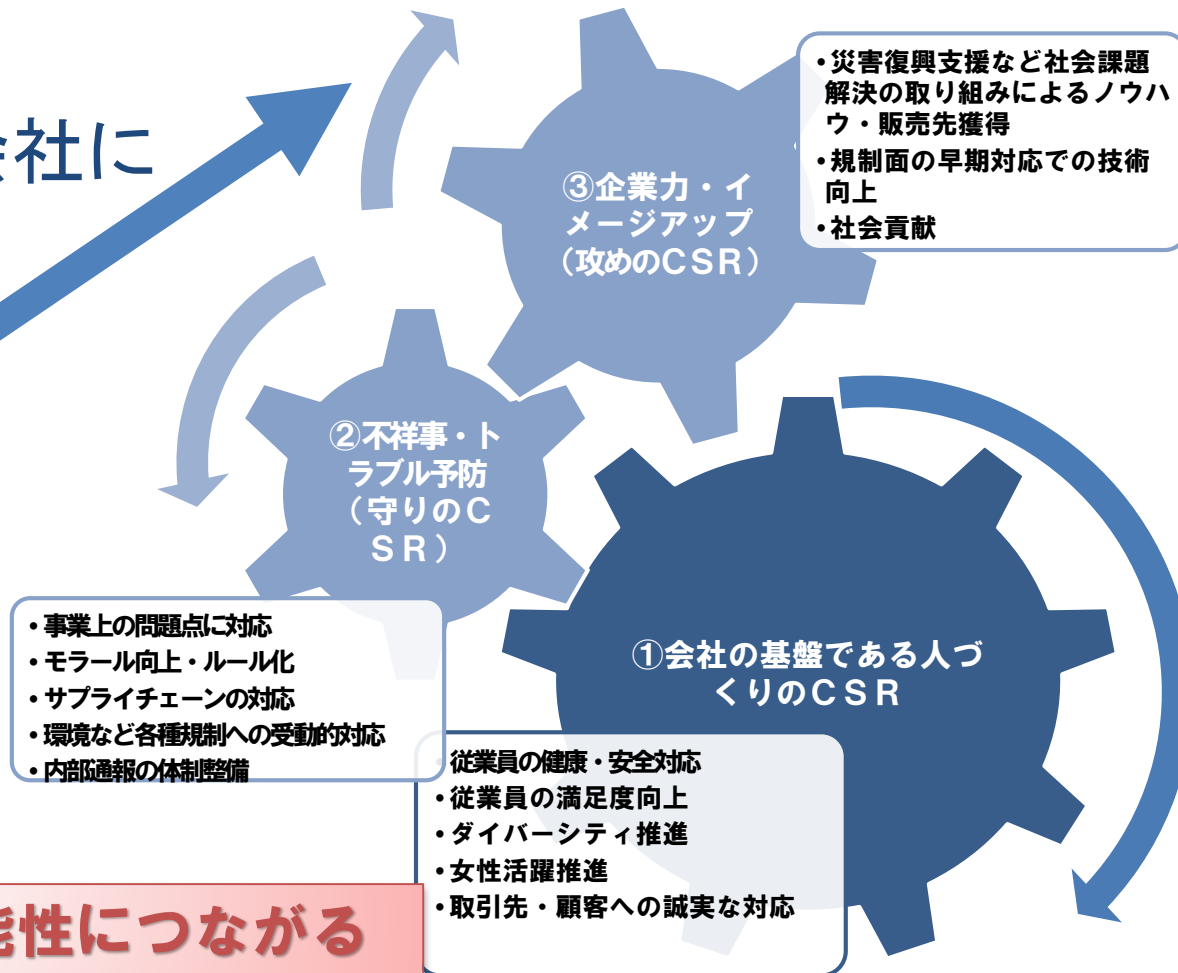


- ①会社に関わるさまざまな人を大切にしているか？
- ②事業活動で与える負荷を減らすよう努力しているか？
- ③社会課題解決に貢献しようとしているか？

「ESG-H」という枠組みが基本

# CSR活動でより強い会社になっていく

より強い会社に



CSR活動の積み上げ

持続可能性につながる

この全体の動きがわかるような調査・評価を目指す



- 財務情報中心の企業評価の限界
- 非財務情報への注目度の高まり
- 非財務情報の中心としてのCSR関連データ
- 海外・国内で幅広く情報開示の対象に



**企業を詳しく知るための情報として注目されている**

# これまでにない（ESG）情報を 知りたいというニーズが増えている

## 人材活用では

- 女性管理職人数
- 有給休暇取得率
- 離職者数
- メンタルヘルス休職者数
- 世代別従業員数
- 従業員の年間総労働時間
- 新卒3年後定着率

## 他ESG関連では

- 社会貢献活動支出額
- 政治献金・ロビー活動支出額
- 内部通報件数
- 相談役・顧問数
- 法令違反等
- 生物多様性関連の支出額
- CO<sub>2</sub>排出量

こうしたニーズに対応した情報提供を目指す

## 2. 東洋経済のCSRデータ 利用刊行物・関連サービス

---

- 『CSR企業総覧（雇用・人材活用編）（ESG編）』
- 『CSR企業白書』
- デジタルコンテンツ・ライブラリー（DCL）  
（『CSR企業総覧』オンラインサービス）
- 東洋経済ESGオンライン
- データベース（CSRデータ・CSR評価データ）



**CSR調査データ**  
**CSR評価データ**  
**ランキング**



<p><b>CSR企業総覧</b> <b>CSR企業白書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙・電子書籍で発行</li> <li>図書館などの購入</li> <li>日経テレコン、G-Searchなどでも閲覧可能</li> </ul>	<p><b>デジタルコンテンツ・ライブラリー (DCL)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東洋経済のほとんどの媒体がWebで見られるサービス</li> <li>学生は自宅やスマホからも閲覧可能</li> <li>全国約100の大学・公立図書館で導入</li> <li>首都圏の主要私立大学を中心に拡大中</li> <li>就職や研究に利用</li> </ul>	<p><b>データベース</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『CSR企業総覧』掲載情報をデータベース化</li> <li>テキストデータとして提供</li> <li>大学や調査機関、機関投資家等が利用</li> <li>ランキングデータも</li> </ul>	<p><b>東洋経済ESGオンライン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年1月からサービス開始</li> <li>Webサービス</li> <li>主に機関投資家などが対象</li> <li>CSR以外に役員、CG報告書などのデータも</li> <li>検索も可能</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	内容
解説記事 (約90ページ)	各分野の専門家によるCSR・ESG情報の解説ページ。 (重要テーマ30、ESG投資、サプライチェーン、SDGsなど)
総合ランキング	CSR企業ランキング、ESG企業ランキング、女性が働きやすい会社ランキング、他
個別ランキング	勤続年数、新卒3年後定着率、外国人管理職数、政治献金・ロビー活動等支出額、温室効果ガス排出量(対利益も)、生物多様性保全など77
業種別集計編	制度・方針・体制等：活動のマテリアリティ設定、CSR担当部署、CSR担当役員など124 数値項目：内部通報、勤続年数、障害者雇用率など114

- 発売日：2020年4月13日発売
- ページ数：730ページ(ランキング・集計編は630ページ)

# 『CSR企業総覧』 オンラインサービス

■ Webでの検索閲覧サービス (DCL: デジタルコンテンツ・ライブラリー特別版)

1. 『CSR企業総覧』 最新号  
 (雇用・人材活用編) (ESG編) (統合版)  
 各社ごとのページが閲覧可能

2. 過去の週刊東洋経済「CSR企業ランキング」記事

## ●『CSR企業総覧』



## ●CSR企業ランキング 掲載ページ



## ●仕様

- 同時アクセス1
- 検索システム+印刷可

## ●料金

- 年額120,000円(税抜き)



検索・閲覧可能

利用先	主な利用内容
<p>大学の研究者や授業、ゼミ、就職活動などのアカデミック分野 (全体の70%以上。海外の大学も)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• データベースから必要な項目だけ使用</li> <li>• CSRデータを基に独自に評価を作成</li> <li>• 評価データをCSRの達成度として利用</li> <li>• これまでは雇用・人材活用編の利用が中心</li> <li>• 社会貢献等の情報へのニーズが拡大中</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 大学の授業でデータ分析の教材で使う</li> <li>• CSVの研究</li> <li>• 財務データと人材活用と生産性への影響の分析</li> <li>• 副業制度の状況と企業パフォーマンスの分析</li> <li>• 従業員世代分布や希望者の65歳までの雇用についての分析</li> </ul>

利用先	主な利用内容
運用会社・シンクタンクなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究に利用（女性の雇用等）</li> <li>• 基礎データとして利用することが多い</li> <li>• 自らの調査データと組み合わせるなど</li> <li>• 設備・人材投資ETFの基礎情報として利用</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 就活向けのサービス 就職活動向けの情報として利用。</li> <li>• 他</li> </ul>



# 各サービス担当者から聞いた 利用者の声①

サービス	主な内容
デジタル コンテンツ・ ライブラリー (DCL)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 担当者が全国の大学で使い方等のセミナーを実施</li> <li>• 各大学のキャリア支援担当者は『CSR企業総覧』が企業研究に有用という認識を持つ</li> <li>• 複数内定を得た学生が最後に『CSR企業総覧』で判断するケースが増加</li> <li>• 年齢構成、離職者状況、新卒定着状況、育児休業復職率、両立支援制度、LGBT、メンタルヘルス休職者数などに注目</li> <li>• 数値情報以外に多くの情報が入っている文字情報にも注目</li> <li>• 企業向け、公共図書館向けなども増加中</li> </ul>
『CSR企業総覧』オンラインサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他社の情報を印刷するのに便利</li> <li>• 過去のCSR企業ランキング掲載ページが便利 (随時トライアル受付中)</li> </ul>

サービス	主な内容
<b>CSR データベース</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本株投資ではオリジナルのファクターを入れたいという考えがある 「被災地復興支援」などの独自情報に注目（金融系運用会社A）</li> <li>• 他のベンダーでは見ることができない非財務情報が豊富（金融系運用会社A）</li> <li>• 収録社数が多いので基礎情報として利用（金融系運用会社B）</li> <li>• 女性活用などの人材関連情報が豊富（金融系運用会社C）</li> <li>• CSRの達成度として評価データを利用（大学教授）</li> <li>• 日本企業の雇用・人事制度の時系列研究（海外の大学教授）</li> </ul>
<b>東洋経済ESG オンライン</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 役員専任議案への議決権行使業務に利用（金融機関）</li> <li>• ESG投資のためのCSR情報の収集（金融機関）</li> <li>• CSR戦略立案のための他社取り組み状況の調査（一般事業会社）</li> <li>• IR部署へのコンサル資料の作成（金融機関）</li> <li>• 評価指標等の共同研究（一般事業会社＋大学）</li> <li>• 社外取締役の候補者選出（一般事業会社）</li> </ul>

## 3. 回答企業との対話・外部との関わり

名称	内容
① CSR調査・ 評価説明会	<p>2012年開始。今年で9回目。調査についての基本的な内容の説明。作成した資料等の紹介。今年はオンラインでの開催。</p>
② 個別質問会	<p>2016年5月開始。基本的に毎月1回弊社会議室で開催。基本は月1日だが申し込みが多い場合はできるだけ複数日程を設定。2019年4月から2020年3月までの1年間で合計27社とお会いした（さらに3月予定の16社は5月以降に延期し、12社お会いした）。</p> <p>事前にご質問をいただき、個別にお会いしご説明。ライバル企業との差や自社の得点についてのご質問が多い。<b>ただし、説明会資料内容をご存知でない方が増えてきたため、まず、この説明会にご出席いただきたい。</b></p>

- 回答企業への情報提供やさまざまなコミュニケーションを行うための組織
- 2018年2月開始
- 回答企業をメンバーとしている
- 今後、ニーズのあるサービスを有料も含めて検討していく

**URL**

<http://www.toyokeizai.net/csr/sustainabilityforum/>



東洋経済  
サステナビリティ

サービス名	主な内容
<b>CSR File</b> ダウンロードシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 過去10年分の『CSR企業総覧』掲載ページ</li> <li>• 過去5年分のCSR企業ランキング報告書</li> <li>• PDF調査票直近年度分（調査用）</li> <li>• CSR企業ランキング上位800社（2017年～2019年）</li> <li>• 格付け一覧</li> <li>• 業種別集計表</li> <li>• ID追加やPW変更なども可能</li> <li>• 各種レポート</li> </ul>
<b>CSR調査・評価説明会</b> <b>個別質問会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年1回開催の説明会</li> <li>• 個別にご質問いただける毎月開催の個別質問会 19年4月～20年3月：27社+12社</li> </ul>
<b>日本橋CSR研究会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 東洋経済サステナビリティフォーラム向けの情報提供を行うための研究会</li> <li>• CSR企業白書などにも寄稿</li> </ul>
<b>東洋経済CSRセミナー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 優先参加可能（一部有料）</li> </ul>

- CSR企業総覧オンラインサービス
- CSR評価の評価項目得点＋平均値データ・レポート（自社のみ）
- CSR企業白書の集計・ランキングデータ
- サステナビリティ分野の理解を進めるための関連セミナー・勉強会

**まずモニター募集を検討  
規模・業種などでバランスよく決定**

# 他、東洋経済の外部との関わり

協力・参加	主な内容
環境コミュニケーション大賞	第19回（2014年）から後援
グリーン購入大賞	第18回（2017年）から後援
環境省・環境情報開示基盤整備事業	1回目（2013年）から情報の利用者側として参加
その他個別でご協力・情報交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 可能な範囲での公式・非公式での意見交換会の実施</li> <li>• 依頼があればセミナー講師なども</li> </ul>



**外部との関わりで独りよがりにならない調査に**



# 4. 東洋経済CSR調査回答に 役立つ関連資料

---

# CSR 第16回CSR調査のページ

[English](#)

## ■ CSR企業白書2020年版

- ▶ [CSR企業白書HP 目次](#)
  - ▶ [ランキング索引 \(総合ランキング・格付け 個別ランキング\)](#)
  - ▶ [集計表索引 \(集計表 \(制度・方針・体制等\) 集計表 \(数値項目\)\)](#)
  - ▶ [発行記念セミナー \(17年7月31日・8月30日開催\) 東洋経済発表資料](#)
- ※データでのご提供 (有償) は [データベースサービス窓口](#) にお問い合わせください

## ■ 東洋経済CSR調査

- ▶ [第16回CSR調査 \(2020年調査\)](#) [第15回CSR調査 \(2019年調査\)](#)
- ▶ [第14回CSR調査 \(2018年調査\)](#) [第13回CSR調査 \(2017年調査\)](#)
- ▶ [第12回CSR調査 \(2016年調査\)](#) [第11回CSR調査 \(2015年調査\)](#)
- ▶ [第10回CSR調査 \(2014年調査\)](#) [第9回CSR調査 \(2013年調査\)](#)
- ▶ [第8回CSR調査 \(2012年調査\)](#) [第7回CSR調査 \(2011年調査\)](#)

## ■ CSR企業ランキング

- ▶ [2020年版 \(第14回\)](#) [データ: 2019年調査] [週刊東洋経済2月22日号](#) [Web](#)
- ▶ [2019年版 \(第13回\)](#) [データ: 2018年調査] [週刊東洋経済2月16日号](#) [Web](#)
- ▶ [2018年版 \(第12回\)](#) [データ: 2017年調査] [週刊東洋経済2月17日号](#) [Web](#)
- ▶ [2017年版 \(第11回\)](#) [データ: 2016年調査] [週刊東洋経済3月4日号](#) [Web](#)
- ▶ [2016年版 \(第10回\)](#) [データ: 2015年調査] [週刊東洋経済3月5日号](#)

2020年7月3日公開  
2020年7月3日最終更新

[トップへ戻る](#)

## ■ 第16回CSR調査のお知らせ

東洋経済 第16回CSR調査の関連ファイルをご用意しています (上場企業、昨年ご回答未上場企業には郵送で調査票等をお送りしています)。調査全体の説明資料は下記をご覧ください。

調査項目等で追加でご説明が必要な点をまとめているので、まず、下記のご回答の手引き、調査に関するQ&Aをご覧ください。新規追加項目の一覧も掲載していますのでご参考になさってください。

回答締切: **8月31日 (月)** ※フォーム付きPDF調査票も同じです

ご回答の際には下記の資料をご覧ください。

- ▶ [ご回答の手引き](#)
- ▶ [記入例](#)
- ▶ [調査のお問い合わせ \(依頼状、郵送したものと同一\)](#)
- ▶ [前回ご回答いただいた企業用のPDF調査票について](#)
- ▶ [初回ご回答用PDF調査票 \(総合調査\)](#)
- ▶ [初回ご回答用PDF調査票 \(基礎調査\)](#)
- ▶ [調査に関するQ&A](#)
- ▶ [他お知らせ](#)
- ▶ [2020年東洋経済CSR調査・評価説明会](#)



## ■ CSR企業総覧2020年版

- [概要（雇用・人材活用編 ESG編）](#)
- [社名索引（雇用・人材活用編 ESG編）](#)
- [調査の説明・データの見方（雇用・人材活用編 ESG編）](#)
- [財務格付け一覧（PDF）](#) [CSR格付け一覧：抜粋版（PDF）](#)
- [東洋経済「第15回 CSR調査」業種別集計結果2020年版：抜粋版（PDF）](#)

各社のCSR格付け、業種別集計結果（完全版）は[東洋経済サステナビリティフォーラム](#)（CSR Fileダウンロードシステム：会員のみ利用可能）、『CSR企業総覧』『CSR企業白書』等をご覧ください。

※データでのご提供（有償）は[データベースサービス窓口](#)にお問い合わせください

※『[CSR企業総覧オンラインサービス](#)』という『CSR企業総覧』の各社のページを閲覧できるサービスも行っています。トライアル利用のご相談も受け付けています

## ■ 東洋経済プラチナキャリア特別調査／プラチナキャリア・アワード

- [第2回東洋経済プラチナキャリア特別調査](#)
- [第2回プラチナキャリア・アワード](#)（表彰式：2020年6月25日（木））
- [プラチナキャリア企業総覧2019年版（オンデマンド印刷版）](#) [電子書籍版](#)
- [プラチナキャリア企業総覧2019年版（目次、見方・使い方、社名索引）](#)
- [第1回プラチナキャリア特別調査](#) [第1回プラチナキャリア・アワード](#)

## ■ 東洋経済サステナビリティフォーラム

- [東洋経済CSR調査・評価 個別ご説明について（7月31日申し込み受付中）](#)
- [2020年説明会（今年は7月15日・17日・20日に開催いたします）](#)  
過去の説明会資料等は[こちら](#)をご覧ください。
- [東洋経済CSRセミナー（次回：未定）](#)  
東洋経済サステナビリティフォーラムの公開セミナーとして開催しています。
- [日本橋CSR研究会](#)  
東洋経済サステナビリティフォーラムへの情報提供を行う研究会として活動しています。



**こちらもご覧ください**

- 発表資料
- 主な質問・回答
- CSRデータ各種集計表
- CSR企業ランキング得点業種別集計表
- CSR企業ランキング報告書見本
- CSR企業ランキング評価項目一覧・ポイント  
⇒ 今年から平均点も掲載

# 5. 第14回 東洋経済CSR評価・CSR企業ランキング

**「信頼される会社」  
をCSRデータを使  
って見つける**

- 株式投資・就職先として勧められる会社
- 「信頼される会社」像を考える

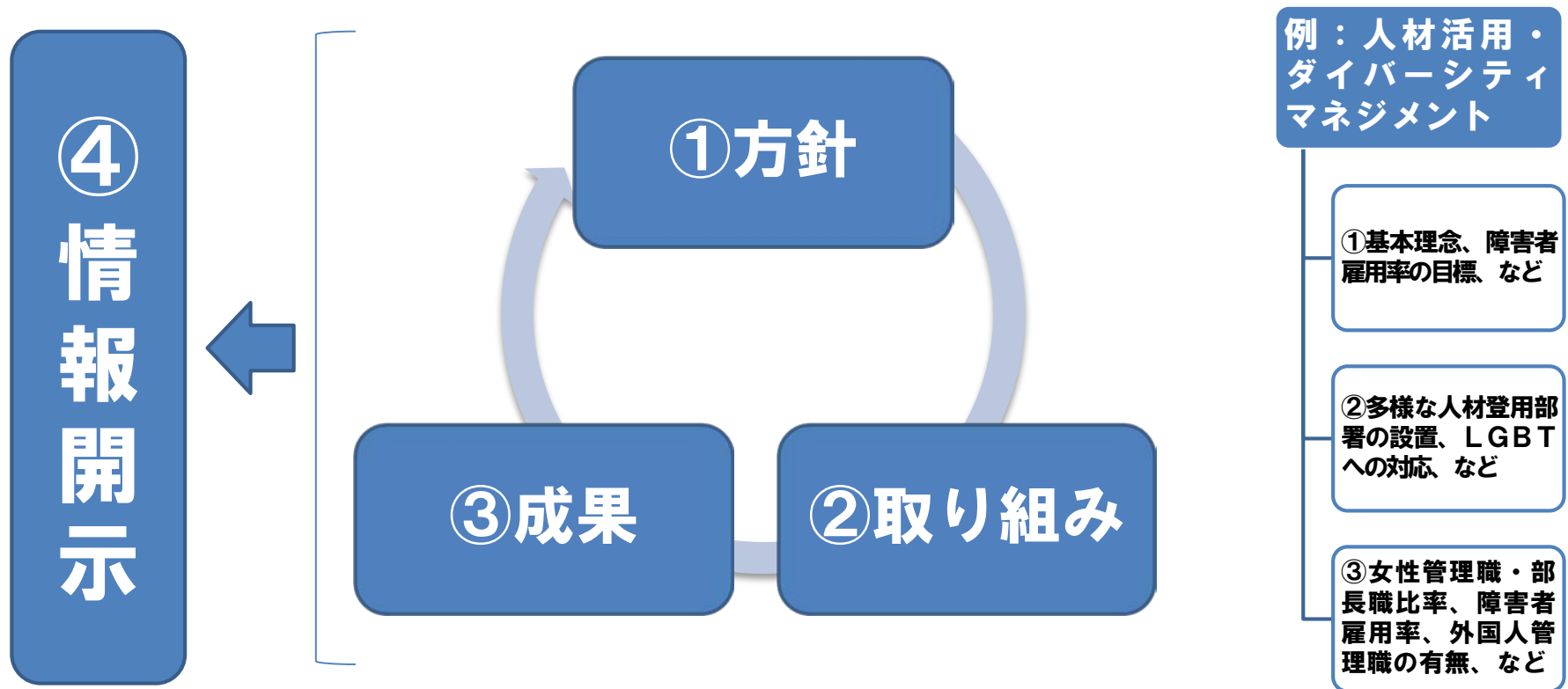
**定量評価による企業  
評価の仕組み作り**

- 数値情報など定量評価での企業評価
- 財務評価とあわせた総合評価

**各社のCSR活動  
を見る際の参考情  
報に**

- 各企業の取り組みの参考指標のひとつに
- CSR情報を見る際の参考情報（「ものさし」のひとつ）に

## ①から④までと財務の力が両立した会社



**F：財務の力**



**CSR**  
**(300点)**

① + ② + ③ + ④

- **人材活用**
- **環境**
- **企業統治 + 社会性**

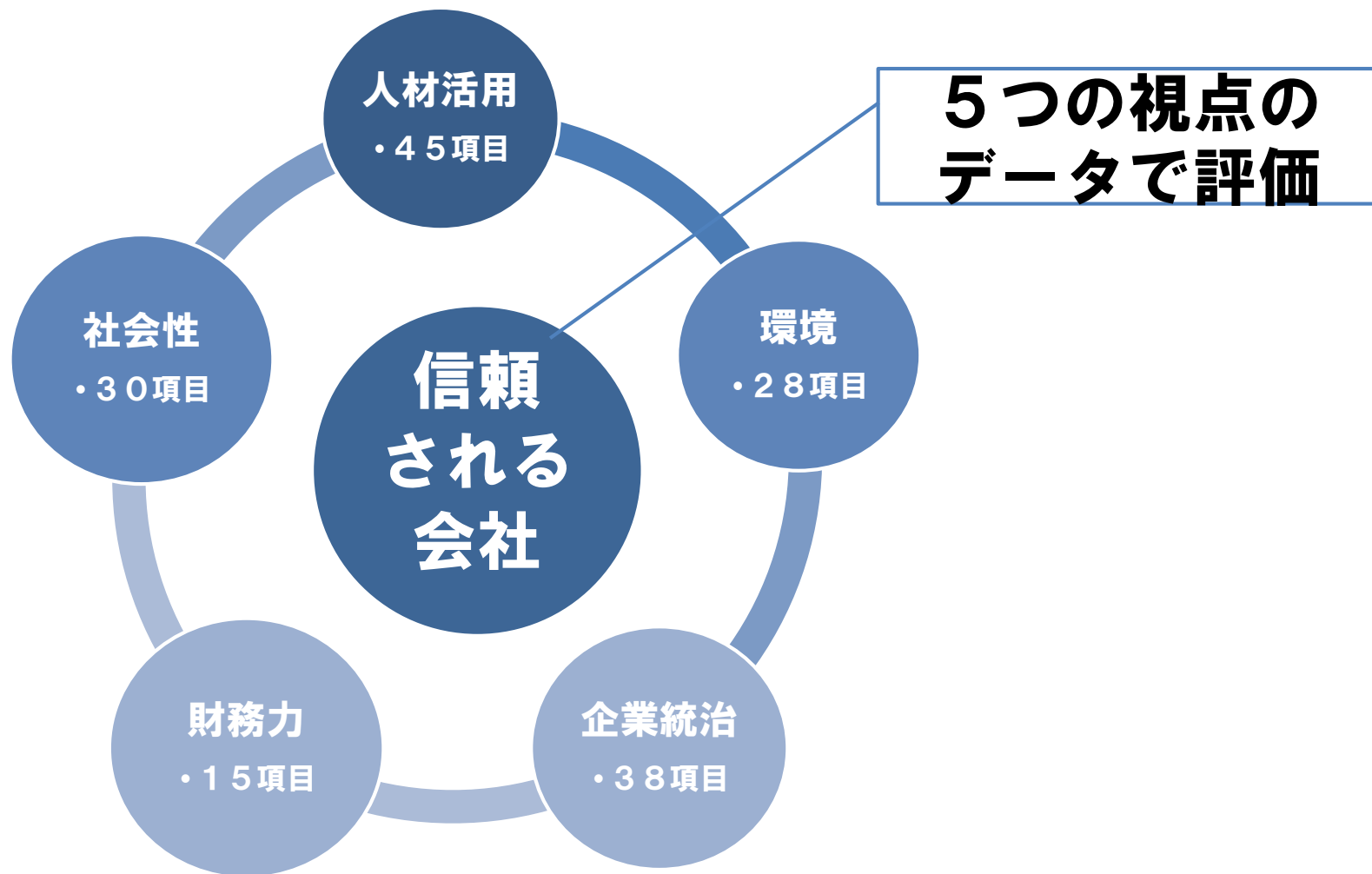


**財務**  
**(300点)**

**F**

- **収益性**
- **安全性**
- **規模**

# CSR企業ランキング5つの視点 (2020年版)



順位	前年	社名	総合 (600)	人材活用 (100)	環境 (100)	企業統治 +社会性 (100)	財務 (300)
1	2	KDDI	575.0	96.0	97.3	98.3	283.4
2	1	NTTドコモ	572.6	93.9	96.0	99.4	283.3
3	11	日本電信電話	569.0	96.0	94.7	97.2	281.1
4	3	花王	567.0	98.0	94.7	95.5	278.8
5	5	富士フイルムHD	566.3	94.9	96.0	98.3	277.1
6	17	セブン&アイ・HD	563.7	93.9	96.0	95.5	278.3
7	17	JT	563.6	91.9	93.3	97.2	281.2
8	6	コマツ	562.2	97.0	92.0	94.4	278.8
9	7	富士ゼロックス	560.2	89.9	96.0	97.2	277.1
10	10	旭化成	558.4	92.9	93.3	93.8	278.4

- 全業種を同じ土俵で見っていく
- 幅広い分野を対応
- 基本的な取り組みを重視
- 数値で把握できる項目を積極的に取り入れる

# 上位はどのような会社か？

## 多くの人々が「優良」と認める会社

- 業績が安定している
- CSRの主要テーマを網羅している・意識している
- 指標等の数値上昇に努力している
- 幅広くCSR情報を開示している

## 幅広く活動・開示できない会社の評価は低い

- 幅広く活動・開示できない非製造業・中堅は得点が低い傾向
- 環境分野の活動・開示レベルがランキングに影響  
(開示可能な情報も多い)



37 業種内順位や得点の成長率など別の見方もある

# CSR 評価項目の基礎得点のつけ方

TOYOKEIZAI

- 各評価項目の最大得点は2～3点を中心
- 伸び率は使っていない。現在の実力を評価する
- 数値項目は「率」と記載していれば、「率」で評価。「人数」などと記載していれば、その「実数」で評価
- 重要な項目は率と実数（人数等）の両面で評価  
育児休業取得者＋育児休業取得率など。
- 数値項目は全社の平均値などを参考に得点ルールの見直しを定期的に実施  
障害者雇用率、女性管理職比率など。
- 文章項目は基本的に該当する内容が書いてあれば得点

⇒ 「評価項目一覧」にポイント・得点を記載

# CSR 評価の具体例 1 (人材活用)

TOYOKEIZAI

評価項目	評価内容
女性管理職比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 10%以上：3点（上位25%）</li> <li>• 7%以上：2点（上位35%）</li> <li>• 3%以上：1点（上位61%）</li> </ul>
新卒入社者の定着度 （3年後定着率）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 95%以上：4点</li> <li>• 85%以上：3点</li> <li>• 75%以上：2点</li> <li>• 開示有：1点</li> </ul>
勤務形態の柔軟化に関する諸制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1つの制度：1点</li> <li>• ただし、合計点は最大5点</li> </ul>

# CSR 評価の具体例 2 (CSR全般・環境)

TOYOKEIZAI

評価項目	評価内容
環境法令違反の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年連続ゼロ：3点</li> <li>回答あり：1点</li> </ul>
内部通報・告発件数の開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年連続数値回答あり：3点</li> <li>1年のみ数値回答あり：2点</li> <li>その他の回答：1点</li> </ul>
海外での価格カルテルによる摘発	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近2年間ゼロ：3点</li> <li>いずれかゼロ：2点</li> <li>回答あり：1点</li> </ul>
地域社会参加活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>何らかの活動実施（回答あり）：3点</li> </ul>
東日本大震災復興支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>行っている：3点</li> <li>昔行っていた：1点</li> <li>東日本大震災以外でさらに加点。</li> <li>最大：4点</li> </ul>



# 2020年CSR評価

## 基礎得点満点、最高得点・企業

各評価項目の得点を合計し基礎得点を算出		満点(項目数)	最高得点 達成率(前年)	社名
	人材活用	107点(45項目)	99点 92.5%(91.5%)	ANA HD、丸井G、 日清製粉G本社
	環境	76点(28項目)	75点 98.7%(97.4%)	丸井G、SOMPO H D
	企業統治	96点(38項目)	96点 100%(100%)	NTTドコモ、クボタ、 Z HD、日本軽金属 HD、SOMPO HD
	社会性	83点(30項目)	82点 98.8%(97.6%)	富士ゼロックス、パ ナソニック
	企業統治+社会性	179点(68項目)	177点 98.9%(98.3%)	Z HD

# ランキングはトップの基礎得点が基準

- 格付けは基礎得点の段階で作成
- ランキングはトップの基礎得点を基準（100点になる）
- 基礎得点の最高点は毎年変化
- トップの基礎得点が上昇すると昨年と同じでは評価は下がる



★2019年	基礎得点	得点
A社（1位）	80	➡ 100
B社（■位）	50	➡ 62.5

倍率（1位のA社が基準）

$$100 \div 80 = 1.25 \text{ 倍}$$

$$\text{B社得点} = 50 \times 1.25 \text{ (62.5点)}$$

★2020年	基礎得点	得点
A社（1位）	90	➡ 100
B社（■位）	50	➡ 55.6

倍率（1位のA社が基準）

$$100 \div 90 = 1.1111 \text{ 倍}$$

$$\text{B社得点} = 50 \times 1.1111 \text{ (55.6点)}$$

# 最近9年のランキング平均点

上位200社	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
総合ポイント	481.5	484.0	500.9	516.9	513.7	523.1	520.4	524.6	527.2
人材活用	73.1	76.0	81.0	83.6	83.3	84.1	84.8	86.6	86.3
環境	83.6	83.2	87.1	86.4	86.4	88.9	89.4	90.2	89.7
企業統治+社会性	83.3	85.4	88.9	88.9	88.9	90.0	90.9	91.8	92.2
財務	241.5	239.4	243.9	258.0	255.2	260.1	255.3	256.1	259.0
上位700社	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
総合ポイント	404.0	403.6	421.1	439.9	440.3	442.2	440.4	449.6	458.4
人材活用	52.5	55.4	59.6	63.4	64.3	66.8	68.3	71.4	72.5
環境	60.4	59.7	63.8	64.2	65.4	68.6	70.5	73.1	73.2
企業統治+社会性	62.2	63.3	67.1	69.1	70.9	73.1	75.1	77.4	79.0
財務	228.9	225.2	230.5	243.2	239.8	233.7	226.4	227.8	233.6
全社	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
対象社数	1,010 ※一定レベル以下も対象	1,116 ※一定レベル以下も対象	1,059	1,086	1,110	1,136	1,165	1,221	1,284
人材活用	44.1	47.4	51.8	53.6	53.4	55.2	55.4	56.6	56.0
環境	48.7	47.9	52.6	51.9	51.8	53.9	54.4	54.9	54.0
企業統治+社会性	53.5	54.2	58.2	58.9	59.2	60.5	61.3	61.7	61.5

- 人材活用、環境はルールを見直し、トップとそれ以下の差が少し出た
- 上位700社は全体的に上昇
- 全社は社数が増えて差が広がりにつつある



# CSR企業ランキング報告書

- サステナビリティフォーラムでダウンロード（5年分：2016年～2020年）可能
- 2019年11月18日に電子メールでご登録者に、**ユーザー名・パスワード**をお知らせ
- CSR企業ランキングのすべての得点をご紹介
- 報告書は2013年から作成しているが、今のところ提供は5年分のみ

## 参考：CSR企業ランキング報告書見本

- 総合順位は76位
- 輸送用機器に属してランキングは56社中13位
- 総合ランキングは財務得点有り（1,461社）とCSR得点が一定以上（1,284社）が対象
- 所属業種、全社のCSR関連、財務関連の各部門の合計得点はそれぞれ社数が異なる

## 傾向

- 調査票ごとに開示のバラつきがある（担当者の差？）
- 回答できないと決めつけている
- 回答の手引きなどをあまり読んでいない

## よくある 未開示項目

- ダイバーシティ推進の基本理念
- 障害者雇用率の目標値
- 育児休業取得率
- 各種表彰歴
- BCM・BCP等

## レベルアップ

### ■きっかけ

- ・新しく担当になった
- ・幹部から指摘

### ① 目標設定・方針設定

- ・基本方針の見直し
- ・いくつかKPI（重要業績評価指標）を設定
- ・その中のひとつがCSR企業ランキング

### ② 情報収集

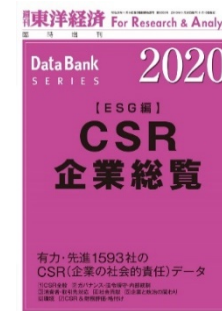
- ・自社の情報を収集
- ・他社の情報を収集  
『CSR企業総覧』、『CSR企業白書』を使用

### ③ 開示・取り組み

- ・取り組みを広げる
- ・その内容を開示する
- ・さらに問題点がわかる
- ・強みもわかってくる

### ④ ランキング上昇

- ・200位くらいには上がることが多い



**CSR企業ランキングの上昇企業で多いパターン**



- 調査票にご回答いただく中で課題が見えてくることが多い
- まずは従業員とそれに関連する取り組みをじっくり行う
- 社会課題解決は足元を固めてから
- インパクトは小さくてもそうした企業が増えることで社会全体で大きなインパクトになる
- 中堅上場企業にがんばっていただきたい

- 基礎調査程度の内容で基本となるCSR評価を行うことが目的
- 少ない情報で基本的なCSR評価を作成  
名称：CSR基本評価
- 基礎調査の項目は総合調査にすべて含まれる
- 今回も16項目で実施（評価は同じ方法）
- 今のところ人材活用の項目が中心
- 将来的には役員情報、大株主情報、四季報情報などを組み合わせて評価を行いたい
- 1位は日本航空

## ■プラチナキャリア特別調査の目的

- 企業による幅広い年齢層の人材活躍の機会提供、社員研修やキャリア形成を支援する取り組みに関する情報を収集・分析することで今後、大きく変化していく日本の労働環境での理想のキャリア像を考えていくための基礎資料とする。

- 外部機関と連携して行う表彰制度
- 調査と評価は東洋経済が担当
- 第2回目目の回答は353社
- 表彰企業の決定は自由記入の内容などを審査委員会が総合的に判断
- （審査委員長：小宮山宏氏）
- これまで行ってきたデータのみでの評価を進化させていくことも検討していきたい
- 記念シンポジウムは9月開催の予定

# CSR企業ランキング 『週刊東洋経済』掲載号

第1回	2007年5月19日号
第2回	2008年5月17日号
第3回	2009年5月16日号
第4回	2010年5月15日号
第5回	2011年2月26日号
第6回	2012年3月17日号
第7回	2013年3月30日号
第8回	2014年4月 5日号
第9回	2015年3月14日号
第10回	2016年3月 5日号
第11回	2017年3月 4日号
第12回	2018年2月17日号
第13回	2019年2月16日号
第14回	2020年2月22日号



## 6. 公開情報からの調査・評価

---

## ①義務化

- コーポレート・ガバナンス報告書
- 女性活躍推進法

まだ十分ではないが少しずつ増えている

## ②社会の要請

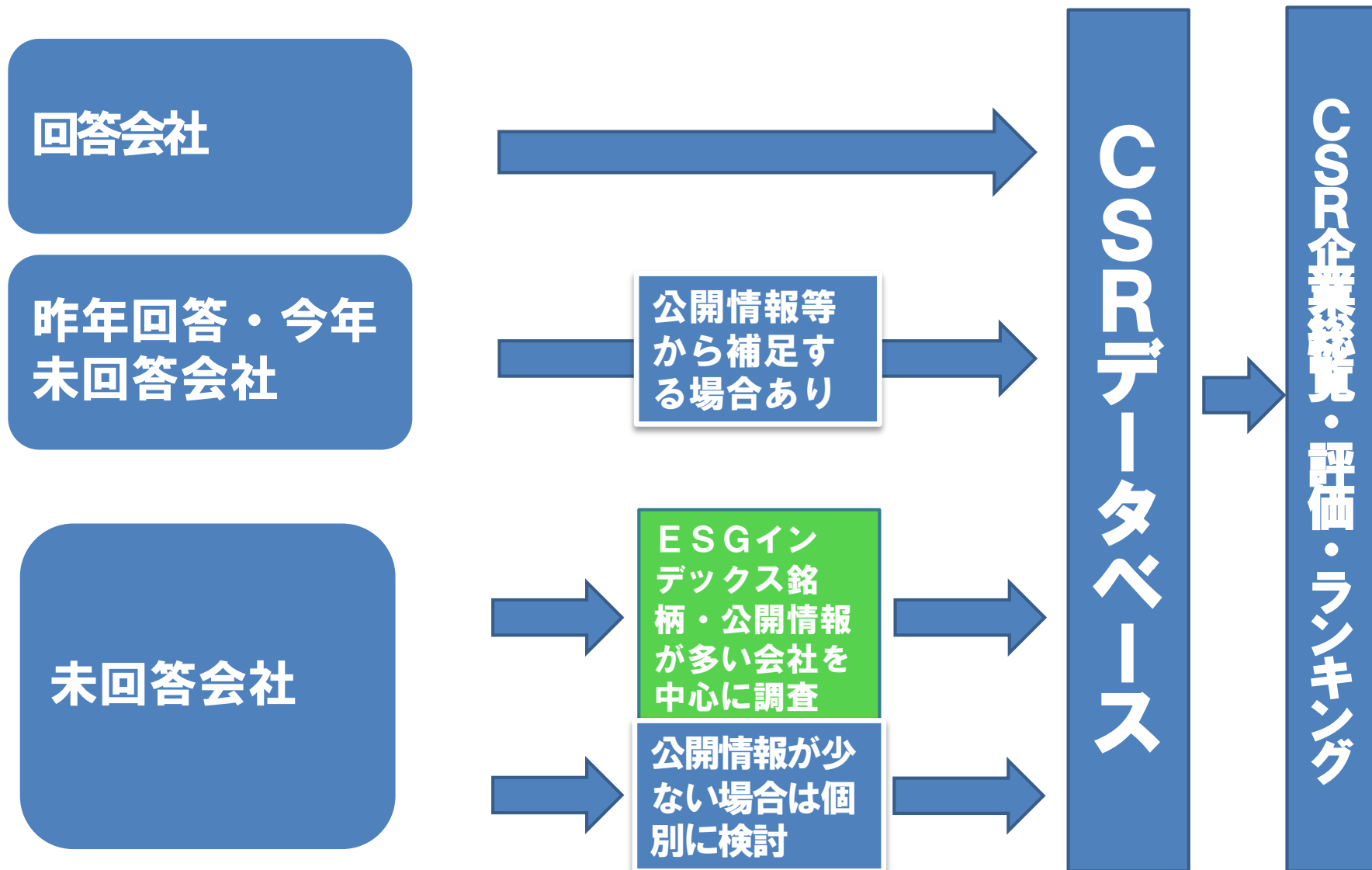
- CSR報告書
- 環境報告書
- 統合報告書
- 環境情報開示基盤整備事業
- 各種表彰制度

## ③アンケート

- 『役員四季報』
- 「大株主調査」
- 『就職四季報』
- 「CSR調査」

こちらも必要

現在はアンケート分を含めて企業を評価できるレベルになると考える





## ■問題意識

- 開示情報からESGデータ収集という流れが広まりつつある（と言われる）
- 官公庁などは企業の開示情報を増やそうとしている
- 東洋経済も公開情報から集めていく体制整備が必要という認識は持つ
- 通常の調査票・DBの枠組みに入れたい
- 回答・未回答企業あわせて評価を行えるようにする
- ランキングの対象にもする
- ただし、非常に手間がかかるため2019年の対象企業は11社

## ■2019年調査の結果

- CSRに積極的とされている未回答企業、ESGインデックス企業から11社を調査。
- CSR報告書、女性の活躍推進企業データベースなどからデータを取得⇒PDF調査票に入れていった。
- 取得できる項目は多くなかった
- 特に数値項目が少なかった
- 評価はあまり高くなかった

## 課題

- 開示情報は多くない
- 特に数値情報が十分ではない
- 人に関するデータがあまりない

基準がバラバラ

評価手法・見方が  
確立されていない

公開情報は十分  
ではないため依然  
多くの機関が  
似たような調査  
票を送っている

多くの機関  
が一緒に考  
えていく時  
期になっ  
た？

- 調査内容の標準化
- 共通項目の共同利用
- アカデミックを中心とした情報の見方の検討

国中心に開示基準を決めていくのがよいのかもしれない

# 7. 今年・今後の 東洋経済CSR調査・評価

---

- ご回答の手引きに記載
- ボランティア休暇、マッチング・ギフト等の制度の社員に向けての周知
- 社員の社会課題解決への関心を高める取り組み
- プラスチック削減の取り組みについて

## 名称

ポストコロナ 従業員の働き方・企業のあり方  
特別調査

- 今後の新しい働き方や企業のあり方について考えていくための情報収集・分析
- 今年はCSR評価には使用しない
- 来年はそれぞれの調査票に組み込む予定

- W e b での調査に向けて検討開始
- サステナビリティフォーラムの追加活動についても本格的に検討
- 調査票は雇用・人材活用が4枚になる予定
- C S R全般・社会貢献・内部統制等編は項目の削減等で4枚を維持したい

# 2020年調査のスケジュール

年月	内容
2020年6月	新調査項目を決定。調査票の作成開始
7月	調査票発送（7月3日送付） PDF調査票作成・セット（CSR Fileダウンロードシステム） CSR調査・評価説明会（オンラインのみ）
8月	締め切り（8月31日）。編集開始
9～11月	編集作業
2021年1月	『CSR企業総覧（雇用・人材活用編）（ESG編）』2021年版発売 集計編送付
2月	各種ランキング発表開始 （予定）CSR企業ランキングの発表（『週刊東洋経済』） （予定）CSR企業ランキング報告書ダウンロード開始
4月	『CSR企業白書』2021年版発売
4～5月	説明会（東京・大阪）：開催できるか？

今年もよろしくお願いいいたします。